

この度、「透析医療を巡る臨床倫理の側面」のタイトルで特集が組まれました。透析医療は、他の生命維持治療に先駆けて一般応用された治療法であるとともに、生命維持治療であることを忘れさせるほど一般化した治療法の代表格です。しかし、普及した一方で、わが国においては、透析患者の高齢化、多疾患併存を背景に、倫理的問題についてもスポットが当たるようになってきました。

今回、各方面のエキスパートが執筆をご担当くださり、透析医療をめぐる現在のわが国の状況と高齢化問題、日本透析医学会による提言の改訂を受けたAMED；CKM2022の解説に始まり、透析スタッフ全員が身につけるべき基本的緩和ケア、スピリチュアルケアとグリーフケア、多職種における実践の紹介に

加え、倫理的アプローチにおける「ものがたり」の重要性、倫理コンサルテーションの実践、倫理学者、法律家からのCKMの解釈と留意点の解説、倫理的アプローチにおけるピットフォールなど、1冊の特集として、求められるものほぼすべての内容が、コンパクトな中にも網羅された編集となっており、実臨床に役立つこと間違いのないと思われます。

透析医療に携わるすべての職種の方にお読みいただくとともに、書架のわかりやすい場所に保管しておいていただき、実際の症例に遭遇した際には、手に取って、読み返ししながら、「患者・家族にとっての最善の医療」が提供されるための一助となることを願っております。

(三浦靖彦)

2024年(Vol.40)特集のご案内

- No.① 骨合併症（骨折、アミロイド症を含む）
No.② 血液透析患者の血圧を再考する
No.③ “透析看護”研究，論文発表に繋げよう！
No.④ 急性腎障害の最新トレンド
No.⑤ 透析患者の心不全パンデミックに立ち向かう
No.⑥ 学びなおし腹膜透析

- No.⑦ 腎臓リハビリテーション—理論と実際〔増刊号〕
No.⑧ チームで挑む透析患者のフットケア
No.⑨ 高齢者施設で生活する透析患者の実態
No.⑩ 透析医療を巡る臨床倫理の側面
No.11 透析室スタッフのコミュニケーション術
(既刊は○)

臨床透析® Vol.40 No.10

©2024年9月10日発行

定価：2,860円

(本体2,600円＋税10%)

- ・2024年 年間購読料(増刊号含む13冊，税込)
冊子版 39,050円
電子版(個人のみ) 39,050円
冊子版＋電子版(個人のみ) 44,550円
(詳しくはホームページをご覧ください)
- ・年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込みください。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp URL <https://www.nmckk.jp>

印刷所 シナノ印刷株式会社

・Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2024, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所／株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 電話(03)3814-8541